

情報公開文書

西暦 2025年 5月 8日作成

項目		
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	済生会横浜市南部病院における硫酸マグネシウム注射液の使用実態調査
	研究対象者	2024年10月から2025年3月に硫酸マグネシウム注射液を使用した患者124名
	研究目的	硫酸マグネシウム注射液(以下、硫酸Mg)は体内の電解質補正に使用されており、低マグネシウム血症(以下、低Mg血症)が起こる原因是低栄養、薬剤性など様々である。しかし、用法用量について添付文書には「電解質補液の電解質の補正用として、体内の水分、電解質の不足に応じて電解質補液に添加して用いる。」と記載されており具体的な投与量が示されていない。そこで、済生会横浜市南部病院における硫酸Mgの使用実態調査を行ったため報告する。
	研究方法	単施設後ろ向き観察研究
	個人情報保護	研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報は個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。
	研究期間	結果通知書交付日～ 西暦 2025年 8月 1日
利用する試料・情報の項目(チェック[X]のある項目を利用します)	[]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[]年齢、[]生年月日、[]性別、[]既往歴、[]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[]臨床検査値、[]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過(予後追跡データを含む)、[]ゲノムデータ、[]看護記録、[X]その他(具体的に記載:投与量、投与時間)
試料・情報を利用する者の範囲	当院研究責任者	済生会横浜市南部病院 薬剤部 加藤一郎
	共同研究者	薬剤部 加藤 一郎 薬剤部 高木 淳也
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問い合わせください。 病院代表: 045-832-1111 担当者: 薬剤部 占野 二千華